

平成30年度 此花区運営方針

(区長:前田 昌則)

◆計画

区・局の目標（何をめざすのか）

区民が元気で笑顔にあふれ、区民の輪によって発展するまち「このはな」を実現する。

区・局の使命（どのような役割を担うのか）

- ①区民目線で顕在化している地域課題の解決に取り組む
- ②将来に向け、潜在化している地域課題を整備する

平成30年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

区の新将来ビジョンの各項目「防災」「防犯」「子ども」「福祉」「健康」「環境」「まちづくり(地域活性化)」「まちづくり(担い手確保)」「まちづくり(ハードウェア)」「区役所」に掲げる”めざす姿”の達成に向け以下を行動指針とした取り組みを進めていく。

- ・マーケティング(区民の声)とイノベーション(課題解決)
- ・3現主義(現地・現物・現実)

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 防災】 日頃から区民一人ひとりが災害に対する備えを行い、地震や津波が発生した際には区民全員が安全に避難できる状態をめざす	・海溝型地震への備えとして区民一人ひとりが、所定の時間内に避難できるよう、区内一斉津波避難訓練を実施。
主な具体的取組（30年度予算額）	
【1-1-1 防災】(30年度3,996千円) ・区民一人ひとりに避難先を周知したうえで、津波避難訓練を実施。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 防犯】 ・見守り等の取り組みが日常化し、犯罪が少なく区民が安心して生活できる状態をめざす	・子ども見守りを実施し、子ども被害件数減少をめざす。 ・青色防犯パトロール車両を2台に増台しパトロールを強化。
主な具体的取組（30年度予算額）	
【2-1-1 防犯】(30年度626千円) ・子ども見守りを実施し、子ども被害件数減少をめざす。 ・青パト2台体制によるパトロールの実施。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 子ども】 ・子育てがしやすく、子どもの生活習慣や学習習慣が確立され、未来へ向けた子ども達の育成ができる状態をめざす	・学力向上へ向け児童・生徒の指導を適切に行うためのツールの導入。 ・家庭学習の充実を図るための取組。
主な具体的取組（30年度予算額）	
【3-1-1 子ども】(30年度5,030千円) ・子どもの学習に関する弱み・強みを知るため分析機能付単元別テストなどを実施し、その結果を教員が個々の児童・生徒の指導に活用するとともに、保護者にも情報提供を行うことにより家庭学習の充実を図る。 ・望ましい基本的生活習慣や学習習慣の確立に向けた取り組みの企画、実施。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4 福祉】 ・声かけ・見守り・助け合いが日常化し、笑顔で繋がりがいきいきと暮らせる状態をめざす	・「見守りタイ事業」を地域住民が主体的に取り組めるような地域活動事業へと移行し、地域担当チームを中心に支援。
主な具体的取組（30年度予算額）	
【4-1-1 福祉】(30年度8,426千円) ・ボランティアリーダーの機能強化。 ・地域の中での見守り活動の必要性和重要性の理解のため各地域への説明・意見交換の実施。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5 健康】 ・区民がそれぞれ健康づくりの取り組みを行い健やかに暮らせる状態をめざす	・取り組みやすい健康の定義により、健康づくりの取り組みメニューを作成し周知。
主な具体的取組（30年度予算額）	
【5-1-1 健康】(30年度一千円) ・「健康の定義」に基づく健康づくり取り組みメニューの提示。 ・健康づくりにかかる情報発信。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題6 環境】 ・大人も子どもも楽しく環境を学びあい、人と人がふれあうことで思いやりのある、住み心地のよいまちとなっている状態をめざす	・若年層や子育て層に環境活動に関心を持って参加してもらえるようなアイデア募集と実現にむけた支援を行う。

主な具体的取組 (30年度予算額)	
【6-1-1 環境】(30年度5,000千円) ・地域や企業等が行っている清掃活動について区が作成した「お掃除マップ」を充実させることにより、区民等に周知し、清掃活動の輪を広げる。 ・区内小中学校の環境学習など身近な環境の取り組みへの支援。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題7 まちづくり(地域活性化)】 ・元気な姿と笑顔にあふれ地域のコミュニケーションも盛んで区民がまちに愛着を持っている状態をめざし、地域の課題の発見と解決策の検討にかかる支援の強化を図る。	・地域の課題の発見と解決策の検討にかかる区役所職員による支援の強化。
主な具体的取組 (30年度予算額)	
【7-1-1 まちづくり(地域活性化)】(30年度44,610千円) ・地域担当チームによる地域カルテの充実と課題の抽出・検討。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題8 まちづくり(担い手確保)】 ・元気な姿と笑顔にあふれ地域のコミュニケーションも盛んで区民がまちに愛着を持っている状態をめざし、幅広い年齢層が地域活動に参画できるようなルール作りの支援を行う。	・幅広い年齢層が地域活動に参画できるようなルール作りの支援。 ・やる気と能力のある新たな担い手確保への支援。 ・新たな担い手の参画促進に向けたICTを活用した仕組みづくり。
主な具体的取組 (30年度予算額)	
【8-1-1 まちづくり(担い手確保)】(30年度44,610千円【再掲】) ・地域における課題解決のコーディネート等について支援する。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題9 まちづくり(ハードウエア)】 ・元気な姿と笑顔にあふれ地域のコミュニケーションも盛んで区民がまちに愛着を持っている状態をめざし、西九条駅から正蓮寺川公園への景観の向上に資する取り組みを行う。	・西九条駅から正蓮寺川公園への景観をテーマに公募したアイデアを基に景観設計コンペを実施し、その成果を景観整備に活用。
主な具体的取組 (30年度予算額)	
【9-1-1 まちづくり(ハードウエア)】(30年度4,842千円) ・西九条駅から正蓮寺川公園への景観をテーマに景観設計コンペを実施する。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題10 区役所】 ・区役所が区民に身近な行政機関として区民の意見を区政に反映し、市民満足度の高いサービスを提供している状態をめざす	・浸水対策としての庁舎内レイアウトの改善。 ・庁内横断的プロジェクト等を活用しながら、課題の解決、職員の企画力向上を図る。
主な具体的取組 (30年度予算額)	
【経営課題10-1-1 区役所】(30年度448千円) ・浸水対策としての庁舎内レイアウトの改善。 ・庁内横断的プロジェクト等を活用しながら、課題の解決、職員の企画力向上を図る。	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等 (様式3)	
主な取組項目	取組内容
歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上	・保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る。

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと
<p>此花区では、平成30年度「区民が元気で笑顔にあふれ、区民の輪によって発展するまち「このはな」の実現」をめざし、以下の取り組みを実施した。</p> <p>【防犯】 防犯関係では、青ノト車2台による防犯パトロールを下校時に力点を置いて実施するなど子ども被害抑止に取り組み、業績目標を達成することができた。</p> <p>【福祉・健康】 高齢者等の見守り活動に加え、ボランティアリーダーの機能強化にかかる取り組みを実施するなど、見守り体制の強化に資する取り組みが実施できたと考えている。今後は、高齢者等の見守り事業の認知向上と、活動量の増大に取り組む。健康に関する取り組みについては、「健康」を「自分らしく充実した生活を送ることができること」と定義し、区民一人ひとりが自分のライフスタイルにあった健康づくりに取り組めるよう、広報誌等での啓発及び周知に努めた。健康づくりへの意識や実践は、区民一人ひとりの考え方によるところが大きい。今後はさまざまな機会をとらえて、啓発と周知等を行う。</p> <p>【まちづくり】区役所内に組織横断的な地域担当チームを継続して編成し、地域の会議や行事に参加するなど、地域課題の把握や地域活動協議会の活動支援を行った。今後も、地域が解決に向けた取組を行えるよう支援を継続していく。</p> <p>【区役所】庁舎3階の災害対策本部機能の強化や庁舎1階レイアウトの改善案の取りまとめを実施したほか、職員の人材育成に資する取り組みを行った。今後、引き続き、庁舎内レイアウトの改善や職員の人材育成に資する取り組みを実施していく。</p>

解決すべき課題と今後の改善方向
<p>【防災】 ・大地震に対する備えのできていない区民が多いことから、津波避難訓練にとどまらず、避難所開設・運営訓練にも取り組む必要がある。そのため、時機や機会を捉えたこまめな啓発、地域毎の訓練のほか、全地域対象の避難所開設・運営と訓練の要素を取り入れた連続講座を実施する。</p> <p>【子ども】 ・分析機能付単元別テストなどを各小中学校で実施したほか、放課後の空き教室を活用し自主学習の機会を提供した。それらの取り組みにより、学習習慣の確立に寄与してきたと認識しているが、今後は、昨年度の取り組みに加え、家庭においても単元テストの補修などの学習ができる仕組みづくりを行う。</p> <p>【環境】地域や企業と協力した一斉清掃や区内小中学校の環境学習など身近な環境の取り組みへの支援を行った。これらの取組が、環境活動に自主的に参加している若年層の割合の向上に寄与したものと認識しているが、今後は、若年層以下の区民が集まる環境イベントを開催するなど様々な手法を用いて環境の取り組みを啓発していく。</p>